

## 第6章 計画の推進体制

### 1. 区計画の推進の考え方と推進体制について

#### ◆区計画の推進の考え方

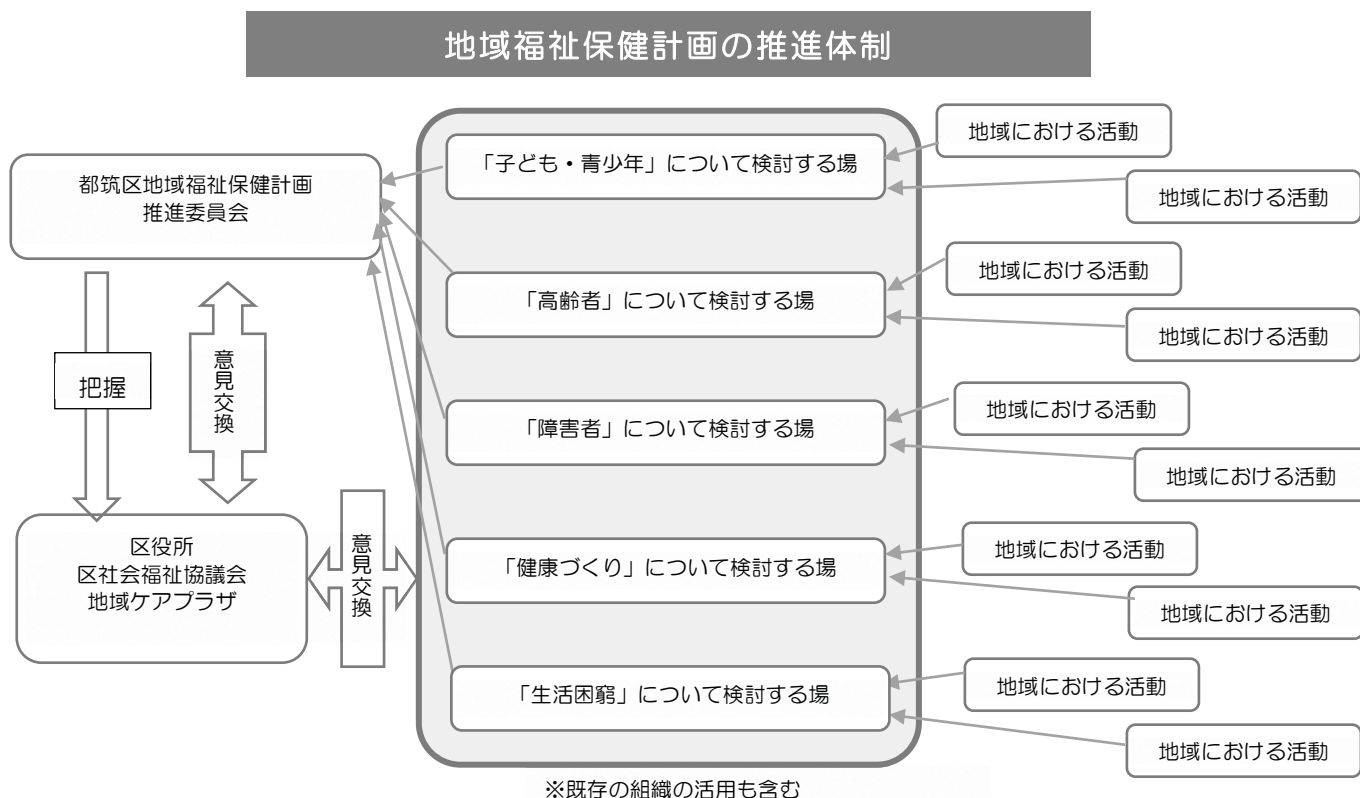
地域福祉保健計画は、区民の皆さまや活動団体、企業等と区役所、区社協、地域ケアプラザが目標や取組の方向性を共有し、協働して活動や取組を進めることで、推進を図っていくものです。着実な推進のためにも、お互いの活動を理解し、尊重しつつ役割を明確にしたうえで連携していくことが重要です。

#### ◆区計画の推進組織の構成と役割

区計画全体の進捗状況を確認し、計画推進に必要な取組を検討する体制として、第4期計画においても、継続して下記の体制を設置します。

#### ○都筑区地域福祉保健計画推進委員会

第4期計画の策定及び推進を目的に、自治会町内会長をはじめ、福祉、保健、医療その他各種団体の代表や学識経験者から構成される会議です。この会議を推進・進捗確認の場として位置づけ、計画の推進等について協議していきます。また、より具体的な議論を交わし、効果的に取組を推進するため、委員会の下に各分野について、検討する場を設けます。



### 2. 地区別計画の推進の考え方と推進体制について

#### ◆地区別計画の推進の考え方

地区別計画は「地域の皆さんで作った地域のための計画」であり、策定の段階だけではなく、その推進も地域主体で進めていくこととなります。計画に記載のある取組は地区で活動する様々な人や団

体がそれぞれの活動の中で取り組むことも多く、その進捗状況等を確認したり、取り組んでいく上での課題等を共有する場が必要です。

#### ◆地区別計画の推進組織の構成と役割

各地区では、地区別計画の推進・進捗管理を行う体制を作ります。15ある連合町内会自治会・地区社会福祉協議会エリアごとに状況は異なりますが、自治会町内会、地区社協、地区民生委員児童委員協議会などの地域団体や地区の中で活動する様々な分野の方々の参加により構成します。

これまである既存の組織（支え合い連絡会など）を活用することも考えられます。

なお、地区別計画の推進にあたっては、区役所と区社協、地域ケアプラザが連携して、地域の様々な活動を支え、応援していきます。

### 3. 計画の振り返りについて

#### ◆区計画の振り返り

##### ○各年度の振り返り

毎年度の「都筑区地域福祉保健計画推進委員会」において、目標に沿った取組がどの程度進んだか、次年度に向けての課題、新たに取り組むべきこと等について報告し、意見をいただきます。

##### ○評価内容・手順

区計画の評価は、各重点項目に設定する「評価指標」に基づく以下の取組等の推進状況について、「目指す姿」にどれだけ近づいたかという視点で、定量（量）及び定性（質）の両面から総合的に判断し、評価を行います。

- ・地域課題解決に向けた区・地域の取組
- ・地域づくりを進めるための市域の施策や事業
- ・住民が主体的に進めている活動
- ・住民と多様な主体が連携・協働して進めている活動等

#### 【評価の構成項目】

##### ① 評価指標

定量評価に際して、目指す姿に近づくための取組・活動の結果を数値で表すこと、かつ経年で追うことが可能なものを「評価指標」として設定しました。

##### ② 定性評価視点

定性評価に際して、「さまざまな主体を巻き込んで打ち合わせを重ねた」等、目指す姿に近づくための取組・活動（結果）を進めるために行ってきたことや今後の課題となること（経過）等、数値で表せない質的な視点で確認するものを「定性評価視点」として設定しました。

#### 【評価の手順】

手順1：3つの推進の柱ごとに位置付けられた9の重点項目について、「評価指標」の経年変化や「定性評価視点」の取組状況を把握し、定量・定性評価を行います。

手順2：9の重点項目ごとに「目指す姿」にどれだけ近づいたかについて考察します。この際も、「結果」と「経過」、「できたこと・やったこと」と「課題」の視点を持って考察し、考察結果をもとに3つの推進の柱ごとの総合評価を行います。

【評価の視点】

評価では、下表のように、「結果」と「経過」の視点で取組状況の確認をしていきます。

第4期 評価指標の視点		定義
結果（定量）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す姿に近づくための、</li> <li>① 対象者の生活の質の向上につながる取組や仕組みができたか</li> <li>② 課題解決に向けた取組はどの程度達成されたか</li> </ul>
経過 （定性） （結果以外のもの）	地域における取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「結果」のために、地域でどのような取組が行われたか</li> <li>・住民・地域が主体的に取り組めたか</li> <li>・関係機関・民間企業・市民活動団体等と公的機関、支援機関が協働して取り組めたか</li> </ul>
	支援機関（区・区社協・地域ケアプラザ）による支援・地域への関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「結果」のために、支援機関の働きかけや取組（支援）はどうだったか</li> <li>・市として計画に位置付けた支援策はどの程度行われたか</li> </ul>

※新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を踏まえ、評価方法については柔軟に対応していきます。

◆地区別計画の振り返り

○地区ごとの振り返り

地区ごとに組織されている「地区別計画の推進・進捗管理を行う場」を、必要に応じて開催し、進捗状況等の確認を行います。活動団体等がどの程度取組を進めたか、団体同士の活動状況の共有等も行い、次の活動につなげていきます。

また「地域懇談会」を年1回程度開催します。地域懇談会では計画の取組状況や今後の方向性等について、広く住民間で意見交換を行い、そこで出た意見を取組に反映させるなど、計画の推進につなげていきます。

○地区間での情報共有

それぞれの地区でどのような目標を掲げて活動を進めているのか、具体的な取組内容等の情報交換、発表の場として、「つづき あいフォーラム」を年1回開催します。